

札幌社保協 FAXニュース

2011年 2月 21日(月)
社保協事務局 発行
Tel 823-0867 Fax 821-3701
E-mail: s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期
高齢者110番は
2月24日(木)です

国保の広域化で命は守れない

東部民商 医療保険の一元化と国保「広域化」の学習会



2/8東部民商は「医療保険の一元化と国保広域化の問題」について、吉岡道社保協事務局長を講師に学習会を開き、会員・会員外を含め33人が参加しました。

吉岡事務局長は国保の現状を道社保協の調査結果を紹介しながら示し、国庫負担を増やさないまま都道府県化しても何も改善されず、逆に負担が増えることを強調しました。

TPPと医療の関係について質問があり、保険外診療や混合診療の拡大、医療従事者の流動化で医療の偏在が加速される可能性などが説明されました。

西区社保協

困難に寄り添う活動等で確信



第10回西区社保協の総会が、1月29日20名の参加で行われました。今回、西区在住の渡辺勇一氏(新潟大学名誉教授)に「日本の財政破綻って本当?」と題した記念講演をしていただき、西区社保協の代表委員も引き受けてもらいました。

昨年は、ホームレスパトロールや2回のSOS相談会など困難に寄り添う活動を中心にいき、情勢や運動の確信につながりました。今年はさらに活動の幅を広げ、独自の社保学校の開催や、たくさんの人が参加できる集会や運動を作っていくことを確認しました。

北区社保協

国保料相談ワンストップサービスを心がける



北区社保協は昨年12月、区長あてに生活保護、国保、介護保険、特定健診、住民税など31項目の要望書を出していましたが、回答に基づく区交渉が2/8に行われ、北区住みよくする会・勤医協友の会などと共に30人が参加しました。

生活保護の改善要望や国保資格証・短期保険証については国の基準や規定通り行うと前進のない回答でした。保険料の納付相談については、生活の困窮世帯も多く、必要に応じて各種制度を周知するなど滞納者の状況に応じて対応する、と回答がありました。

2.15年金支給日宣伝

後期高齢者医療制度も 保育改悪も根は同じ

2/15の年金支給日宣伝は全道各地で取り組まれ、札幌は池内デパート前で「後期高齢者医療制度に怒る道民の会」が50人以上の参加で宣伝・署名を行いました。

最低保障年金確立と後期高齢者医療制度の廃止を訴えたほか、福祉保育労組の中川さんが保育を改悪する子ども子育て新システムの反対を訴え、「後期高齢者医療制度も保育改悪も根は同じ、社会保障を守るために国民が協力してがんばりましょう」と訴えました。

